

アストロラマNo.101

発行者 桑原 由紀子 630-01 生駒市上町 9-12 TEL/FAX 0743-78-1969

1997.10.25

家の側を流れる富雄川の両側にコスモスが植えられており、今を盛りに咲き乱れて見る人の目を楽しませています。周りの田んぼは稲刈りも終わり、あたりは、新しい葉の香りがしています。冴えわたる空に美しい月。山の木々が少しずつ紅葉し、深まり行く秋をそこらじゅうに感じるここ生駒ですが、皆様には、お変わりないでしょうか？

昨年の今頃は、登校拒否になりかけた沙代子を横目に「彩」のコンサートに向けて自分の身を二つに分けたい思いで頑張ってたわたし。こんなふうに、ゆっくり秋を味わう余裕もなかったように思います。

コンサート後、琴を離れ精一杯子供に目を向け、できるだけ側にいるようにして、改めて、随分寂しい思いをさせていたんだなと反省ばかり。何はなくても寂しい思いだけはさせてはいけなと、つくづく思ったことです。中学生になってもまだまだ甘えたい沙代子ですが、今は表情も明るく乗馬に、クラブ活動（陸上）にと頑張っております。

他の「邦楽アンサンブル彩」のメンバーは、今年も11月8日の「光彩コンサート」に向けて頑張っております。今回欠席の私は裏方で何かお手伝いできれば・・・と思ってます。

ここでちょっと、「彩」のコマーシャル！！

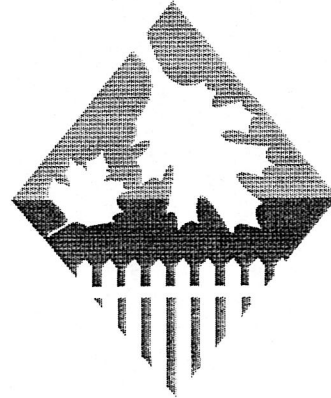
第28回奈良県民芸術文化祭参加

「光彩 Vol.7」は来る11月8日（土）2時より

大和高田市文化会館「さざんかホール」にて開催されます。

入場料は1,500円（前売り券1,300円）となっています。

お近くの方、興味のある方、ぜひいらして下さい。



ロイヤル乗馬クラブ

沙代子の行ってる乗馬クラブが今年、開設35周年になるそうで、馬場で盛大な祝賀パーティーが開かれた。初代は現在のオーナーの父親で、昔は騎馬兵だったとか。

戦後20年も過ぎたころ、やっぱり馬が好きで好きで、周りの反対を押してわづか、6頭の馬からクラブを始められたそうです。

現在、息子さん夫妻の代に移っているが、馬に限らず動物を愛する人はとてもやさしく感じる。オーナー夫妻をはじめ、クラブの方達もとてもアットホームな雰囲気、私も沙代子も行くとなんだかホッとする。

馬に乗ってるとき、手入れをしてるとき、沙代子はとてもいい顔をしている。笑顔がなんともかわゆい。いつもこんな彼女を見ていたいと思う。

先代は今は、クラブを息子さんにまかせて、焼き物を楽しんでおられるそうで、パーティー会場には、その人柄を表すような素朴な作品が展示されていた。

70を過ぎて新たなことに挑戦し、楽しんでおられるお父さんにも感心する。

直子ちゃんがお嫁さんに

いつだったか、「陽気な下宿人」で、このアストロラマにも登場した直子ちゃんがかわいのお嫁さんになった。

先日、そのほのぼのとした披露宴でお琴を弾かせていただいた。直子ちゃんとは、万博のコンパニオンという共通の体験で、ご縁がつながったわけですが、（もちろん彼女は花博）、驚いたことに、この披露宴でなんと、また、EXPO70の日本館のコンパニオンをされていたという方にお会いしました。

お名前は、武内百合子さん（旧姓 福岡）

現在のお住まいは、〒336 浦和市太田窪 3-14-5

もちろん初対面だったわけですが、妙に懐かしくて、昔からの友達みたいにおしゃべりできるのは、これも万博の威力？まったく不思議な感じです。読者のなかで、彼女をご存知の方がいらっしゃったら、ぜひお便りして下さい。あちこち引っ越ししたので、同窓会も全く知らなかったそうです。いろんな所にご縁はあるもので、これからまた楽しい交流が始まりそうです。

タイちゃんからの電話

万博の話のついでにもう一つ。少し前にタイちゃんから電話がありました。タイちゃんとは、みどり館でタイ語の通訳として活躍した宮川季子さん（旧姓矢上）のこと。日本語しかしゃべれない私には強烈に印象に残っているかたです。

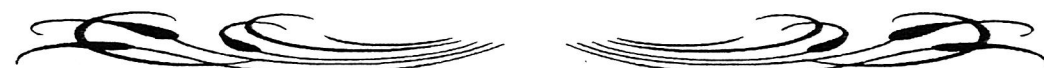
何年か前に「美保さんと歩こう会」で生駒山コースを歩いたのが懐かしい。そして時折アストロラマを思い出してこうして声を聞かせて下さるのが嬉しい。

去年は1週間ばかり、タイに行ってこられたとか、タイ語も益々みがきがかかったのではと思ったら、案の定「昔、めちゃくちゃな通訳をしていたことが、今思うと恥ずかしい」そうで、タイ語もそれだけ上達したってことですよね。

真面目な彼女はしきりに「いい加減な通訳をして申し訳なかった」って気にしていましたが、もうとっくに時効ですよ。

タイちゃん、これからもタイと日本の架け橋（チョットオーバー？）になれたらいいね。

また、ときどき声を聞かせて下さい。



Nice to meet you.

アメリカから来ていたジャニスが帰国して5か月。なかなか次の入居者が決まらなかった。エアコンのついた快適？な離れは、夏の間、お琴教室と着付け教室に使っていた。が、そろそろクーラーもいらなくなった頃、タイミング良く電話がかかってきた。

英会話スクールから「ジャニスの後に来た先生がお部屋を探している」って・・・

あとは、いつもの通り、翌日部屋を見に来て、翌々日入居という素早さ。

吉野に住んで西大寺まで通っていた彼らは、少し田舎っぽさもあり、通勤にも便利なここがすぐに気に入ったようです。

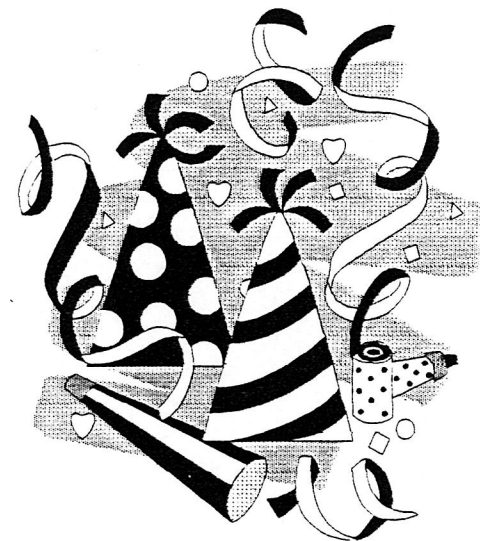
今回は、オーストラリアから来た3人が入居してくれて、またにぎやかな生活が始まった。彼らは前に住んでたネロリ・カイリと同じメルボルンからということで、なんだか遠くの親戚が来たって感じ。

この頃は私をとりまく友達もあたらしい同居人を楽しみに待ってくれるようになり、早速、ジュンとナミとベンを紹介をかねてウェルカムパーティを開いた。

こうして、入居してくれた人たちによって、また新たな人たちとの縁ができ、年齢や性別、国籍を越えた交流がじわじわ広がっている。

家賃以外に彼らは多くのものを私たちに与えてくれていると思うと本当に有り難い。

毎回、すてきな方達に恵まれる私は本当に幸福者と思う次第です。これが私の元気の素なんだなって、感謝してます。



会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
5	20	繰越			11.878
5	20	コピー代		2.600	9.278
5	20	送料		10.000	-722
5	22	カンパ	5.000		4.278
5	30	カンパ	10.000		14.278
8	23	カンパ	5.000		19.278

いつもあたたかいカンパを有り難うございます。

郵便代の値上げはなかなか痛いですね。でも、皆様のおかげでこうして続けられること本当に感謝しています。有り難うございます。

久しぶりに我が家の近況報告となりました。皆様からのお便りもまた載せたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは 次号をお楽しみに！！

アストロラマNo.102

発行者 桑原 由紀子 630-0131 生駒市上町 9-12 TEL/FAX 0743-78-1969

1998.1.10

いつものことながら、遅くなりましたが、
明けましておめでとうございます。

皆様からの賀状、どうも有り難うございました。いつも
手抜きをして、アストロラマで年賀状代わりの近況報告で
ごめんなさい。自分はというと、やっぱり元日に届く年賀状
にこの上ない喜びを感じているのに、相手にはこれだものね。
本当に申し訳なく思っています。その分、1枚のハガキに書く
より3倍ほどの思いをつめてアストロラマを送りたいとおもいま
すので、お許し下さい。

ただ、このアストロラマも、このところ全く私個人のニュースレターとなり、「もう読み
たくないわ」って方がいらっしゃるかも・・・もしそうだったら、遠慮なく言って下さいね。
発送を止めるのは、超簡単なことですので・・・ま、そんな心配をしながらも出し続けてい
るわけで、私も随分ずうずうしくなったのでしょうか？

また、いつも読んで下さってる皆様には、心から感謝しております。有り難うございます。

さて、皆様からいただいた賀状の中から・・・

則ちゃんこと片上則子さん(元みどり館コンパニオン 旧姓竹口) から

幼稚園の頃だったか、とにかくおしゃべりなのよって言ってた上のお嬢ちゃんがはや、社
会人。みんなで、切迫流産を心配した弟さんが、大学受験だそうで、アストロラマも随分
長いことやってるなって思います。

宮脇ゆきえさん(元エキスポシスター)

いつも前向きでいろんなことに挑戦し、3年前の大震災からは、特に積極的にボランティ
アをされていましたね。アストロラマにもその体験記を書いて下さっていましたが、
ついに、『心のおしゃれ』と題して本を出版されたそうで・・・宮脇さんおめでとう。



100号から読者になってくださった、あすか野保育園の園長先生
岩間昭子先生からは、

「そろそろ仕事とさよならしなくちゃ。その後は目下思案中とか。
桑原さんのように人とつながって生きたい・・・」なんて、
嬉しいお言葉。

先生の方が、少しだけ人生の先輩とお見受けしてます。どうぞ
よろしくご指導下さいませ。

又、車で10分とかからないすぐ近くに住みながら、
なかなか会えない

奥田美三恵さん(元エキスポフラワー) は、

「大変忙しくて朝昼晩のスケジュールが目いっぱい詰まっている」そうで奥田さん身体に気
を付けてね。

彼女からはNIFTY ServeのIDナンバーが書いてあったので早速メールを送ることにします。

青木千里さんを通じて知り合った**アツチャンこと笈敦子さん**も私と同じ境遇と
言うことで、仲良くして頂いてます。彼女も昨年の暮れあたりからインターネットにはまったそう
で、ひろいネットの世界を楽しんでいる様子。後で、電話代に泣かないようにね。

「邦楽アンサンブル彩」大ピンチ

昨年、暮れも近づいた頃、「彩」のメンバーの一人が乳ガンにかかり、手術をするという
事態になり、「彩」の存続もあぶないことに・・・ま、そんなことより彼女のショックは
いかばかりかと思いきや、早期発見と言うことで、手術も無事終わり本人はいたって元気な
様子にまづは一安心。さすが練習で鍛えた「彩」の根性??

「まだやめへんで」の言葉に嬉しくなり、彼女が元気に弾けるようになれば、私もそろそろ
復帰して又、「彩」で楽しみたいなと思っている次第です。

ついでに残りのメンバーである小山政夫、利恵子夫妻は元気で、頑張ってます。

来る2月1日2時より

いかるがホール・小ホールにてお二人によるデュオコンサート
「ゆう」が開催されます。

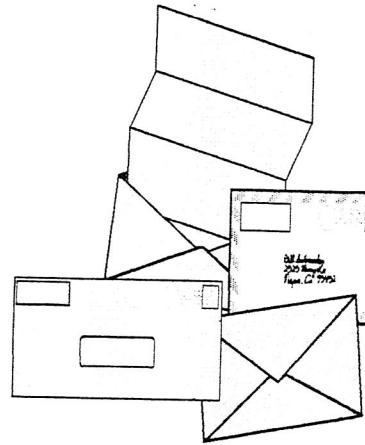
きっとお二人の息の合った演奏がきけることと思います。入場料は1,500円。

お申し込みは、TEL/FAX 0745-76-2157 (小山まで)

YOU

優

以上少し宣伝デス。興味のある方は是非お出かけになって見ませんか？



1997年(平成9年)は、私にとって本当に平穏に平和に、健康にも恵まれ、子供も順調に学校へ行き、仕事上でも特に大きなミスもなく、有り難いなど思っていた。なのに、最後の最後31日の朝、グワーンと突然のめまいに襲われ、3日には救急センターのお世話になり、5日から検査入院ととんでもない年の始まりを迎えてしまいました。

ふだん自覚していないようなストレスが爆発したのか、はたまた頭のネジが吹っ飛んだのか? 検査の結果、特に異常な点は見つからなかった所をみれば、単なる更年期障害とやらいうものなのか? とにかく、98年の先が思いやられるような幕開けでした。がそんな中でも嬉しいこともありました。

診察に行った病院で、たまたま外来で来ていた友人(学童仲間)に会い、めまいでふらふらになってる私にかわって入院手続きはしてくれる、家に引き返して必要なものは運んでくれる、入院中、沙代子はあずかってくれる・・・何から何までお世話になってホントに嬉しかった。もう神様に思えました。

別の友人はパソ通で同じような症状の方のアドバイスを集めてくれたり、もちろん沙代子にもいっぱい助けてもらって、またまた娘に友人に母に兄弟に感謝感謝のNew Yearと成りました。

家に帰れば、オーストラリアの3人も心配して待っていてくれて・・・こんな暖かくて頼もしい人たちに囲まれていれば、今年もまた頑張っていけそうな気がしています。

そんな訳で、今年も又、どうぞよろしくお願い申し上げます。

くわはら ゆきこ

会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
10	25	繰越			19,278
	25	コピー代		2,600	16,678
	25	送料		10,000	6,678

昨年、前田亨様(大林組)のご逝去の報せを受けました。

沢山のカンパをいただいたり、一緒にお酒を飲んだり・・・お元気だったお姿をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

その1

人は皆、「健康で豊かな人生を歩みたい」と思うもの

そのためには、どんな考え方や行動をとれば良いのでしょうか?

どうすれば心と身体のバランスを保つことができるのでしょうか?

イライラ・クヨクヨを吹き飛ばす・・・こんなテーマで講演会が下記のとおり開かれます。

日時： 平成10年2月17日(火)

AM.10:00~12:30

場所： けいはんなプラザ

住友ホール5階「黄河」

講師： 松田 育三 先生

費用： 1,000 円

興味のある方は 0743-78-1969(桑原) までご連絡下さい。
チケットを送らせて頂きます。

その2

ジャズコンサート in 縄庵

以前、紹介したことのある縄庵において
来る2月28日(土)

古谷 充さんによるジャズコンサート開催

の予定デス

不思議な空間・不思議な料理の縄庵のファンも確実に増えており、仲間の中でイベントを心待ちにしている方も多くなりました。

で、どうしても聞きたい方、またご連絡下さい。庵主、長崎さんに案内状をいただけるようお願いしておきますヨ。

どちらの情報も関西の方向けで、遠くの方、ごめんなさいね。

ふう、やっと102号ができたようです。今年1年、また皆様にとって幸多い年でありますよう、生駒より願いをこめて贈らせて頂きます。 では、次号までごきげんよう!!



アストロドラマNo.103

発行者 桑原 由紀子 630-0131 生駒市上町 9-12 TEL0743-78-1969

1998.6.10

ご無沙汰しております。皆様お変わりございませんでしょうか？ワールドカップフランス大会開催、サッカー好きの方、睡眠不足は大丈夫でしょうか？

この半年、何をしてきたかなと思うほど、あっという間に日々が過ぎたように思います。

大きな会社の倒産やら、この先どうなるのかと思うようなキレる子供の事件。インド、パキスタンでは、世界中の反対を押し切った核実験。

社会も人の心も不安で満ちている気がするのは、私だけでしょうか？

そう言う私自身も今年に入って体調がすぐれなかったのですが、このところまた、元気をだして、これから先の人生設計を書き直すべく頑張っております。

というと、何をたいそうなこと始めるのかと思われそうですが・・・とりあえず仕事を変えます。この求人難の時期に、このトシで。誰が見ても馬鹿なことをとなりそうですが・・・。

着物が好きで「京ろまん」に入れていただき、社長の生き方に感動して自分を励まし3年8ヵ月が過ぎました。この間ホントに沢山のことを学ばせていただきました。素敵な方達との出会い、物を作る作家さんの素晴らしいお話、体験談、出来上がった見事な作品。どれをとっても私には「未知との遭遇」で、感激することばかりでした。また、仕事の仲間にもめぐまれ、皆さんによくしていただいて、もうすべての皆様に「有り難う」って気持ちです。

そんな「京ろまん」をやめてまた、別の道を行こうってのは、私のわがままとか、なりゆきとか・・・4月に退職願いを出し、引継をしたものの、引き継いだ方が先にやめちゃうというハプニングもあったりして、1ヵ月延びて、6月10日無事円満退職させていただきました。

在職中にファンになって下さった方、いろんな面で応援して下さい下さった皆様、長い間本当に有り難うございました。

次の仕事も、またまた未知の世界ですが、私にとって興味深い世界です。この先また、いい報告ができることを信じて頑張ります。どうぞよろしく。



VRK 平城山

新聞を見ていて私のアンテナに引っかかったのが、インターネット上の仮想国家「関西電子共和国（VRK）」というボランティアグループを作り出したというIさん。

このVRK,なんと会員約1,400人、東京、京都、神戸、カリフォルニアにまで、自治区があるという。

なんだか、面白そうと思って電話をしたのが、人生の変わり始めというか、私の中でまた、別の世界が広がってしまった。

なかなかユニークな方で夢物語かと思って聞いているといつの間にか実際に動き始めているという、遊びあり、ボランティアあり、ビジネスあり、多岐にわたって活動されている。そんな「VRK」の中で奈良に密着したものが、VRK 平城山（ならやま）です。

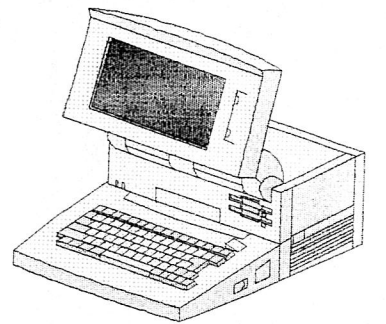
会員は200名近く。

Iさん曰く「やりたいことをやりましょう。ふと思いついたことが実現できる、みんなの夢のある場所にしましょう。」

実際にだんだんそうなっていってるのが楽しい。

年齢も職業も様々の人が集まっているだけに、それぞれの持つ情報も多種多様。いやが上にも刺激される・・・そんなところなんです。

いま、VRK「平城山」の運営委員の一員となり、インターネットを楽しむ仲間を増やし、またそれによって社会貢献しようと夢をふくらませています。



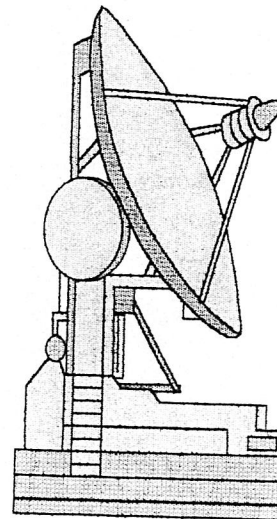
ハイレク犯罪情報センター

VRK 平城山に関わっていて出会ったのが、この「ハイレク犯罪情報センター」を作られた、Uさん。

きっとすごく偉い方なんだけど、私の中では、Iさんと同じく夢のあるユニークな楽しい方に写っている。難しい話をされているのに聞いていると楽しくて引き込まれてしまう。

インターネットが広く普及するにつれて、こういうネットワークを使った高度な技術の悪用・・・いわゆるハイレク犯罪。それらに対する調査とか情報提供とか、技術指導とか、一手に引き受けるセンターを作られたわけで、時代の最先端を歩いている方です。

Iさん、Uさん、これからの私の人生で、一方ならぬお世話になるであろうお二人です。



生駒人 (いこまびと)

私たちの住む生駒市では国際的舞台においても積極的に行動できる「生駒人」づくりを目指すとともに市民が身近かに感じられる国際交流を実現するためにということで、生駒市の中、高生国際交流団を海外に派遣している。今年で、3回目だそうだが、その参加者募集広告が目止まった。費用の半額は市が出してくれると言う。

早速子供に言ったところ「応募だけしてみようか」ってことで、作文と面接を受けたところなんと、すんなり、行けることになった。

この夏休み7月27日から8月10日までの15日間、アメリカはオレゴン州ポートランドとサンフランシスコへ。まったくうらやましい話で、できることなら私が行きたい。

ま、子供にとっては、いい体験になることと思います。中学生、高校生合わせて24名の交流団、何かを見つけてくるのではと、本人の不安をよそに楽しみにしているところです。

野菜畑に花畑



今、一緒に住んでいるベンとナミは、自然が大好き、動物大好き。来てしばらく過ぎた頃、「庭に花壇を作ってもいいか？」って聞いてきた。

庭と言えば聞こえはいいけど、これがほとんど通路で、俗にいう猫の額よりもまだ狭いスペースなのに、雪がちらつく頃からせつせと枠を作り、土を運び、種や苗を植えて今では、キュウリ、ナス、トマト、コーン、レタスにスイカなどなど所狭しと育てている。色とりどりのお花も植えて、雑草だらけだった庭が見違えるようになった。

もう少し広ければ、灯籠をおいた日本庭園を作りたいという彼らの夢を叶えてあげられるのに、残念ながら場所がない。

休みの日、仲良く庭で楽しんでいる二人を見ている私は、ただただ、できた野菜が食卓にのるのを楽しみにしている。

会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
1	10	繰越			6,678
	10	コピー代		2,800	3,878
	10	送料		10,560	-6,682

七夕まつり

以前、ボランティアでやっていた、「生駒日本語学習会」。いつのまにやら、生徒さんがみな帰国して活動も消えたかと思っていたのに、ここにきてせっかくボランティア仲間がいるんだから、何か行動を起こそうということになり、生徒集めの七夕祭りを開催することにした。

近くに関西学術研究都市や、奈良先端科学技術大学院大学などもあり、外国の方もたくさん見かける。言葉や、日本文化の交流ができればいいね、とのみんなの思いがふくらんで、いま着々と準備をしている。

7月4日(土曜日)、生駒市図書館において、

時間は1時から4時まで。

内容は七夕飾りを作る折り紙コーナーあり、願い事を書くお習字コーナーあり、お茶コーナーに浴衣着付けコーナー、もちろん箏、尺八コーナーあり、と盛りだくさん。

有り難いことに、こういうことをやりたいって言えば、

「あ、このコーナーならまかせといて」とスタッフは次々と集まってきた。

あとは、学習会の生徒になる方が来てくれるかどうか。

結果はやってみなくちゃわからない。

お琴教室

以前から思っていたこと、「学童保育の子どもたちと一緒にお琴を弾きたい」が、この春からやっと実現した。いま、かわいい子どもたちが3人お稽古に来ている。

ついでに送ってきたお母さんも見てる内に弾きたくなったということで、一緒にお稽古に励んでいる。その内親子合奏が聞けることでしょう。

まだ、「邦楽アンサンブル彩」に復帰とはいかないけれど、4月頃から、花見に呼ばれて弾いたり、学童の集会で弾いたり、ある会社のパーティに呼ばれたりと少しずつ再開に向かっている。

こんな調子で、いろいろ楽しみながらの毎日。とにかく前を向いていくしかない。近くに住んでる友達。いつも便りが無いのは元気な証拠なんていつたのに、なんと一ヶ月も入院していたとか。やっぱりもう少しまめに連絡しあうほうがいいのかしらなんて思った。もっとも私が入院したらそこらじゅうの友達に電話するかも知れないけど。

なにはともあれ、こうして半年ぶりに103号を出すことができ、また、皆様に思い出していただけたかなって思ってます。

梅雨があければ本格的な夏到来ですね。アストロ仲間もグンと平均年齢が高くなってきたような・・・お互い身体を大切にしましょう。では、次号をお楽しみに。

アストロラマ No.104

発行者 桑原 由紀子 630-0131 生駒市上町 9-12 TEL/FAX 0743-78-1969
1998.10.20



随分御無沙汰しておりますが、皆様にはお変わりございませんでしょうか？

夏から和歌山のカレー事件に続き、あちこちで毒物混入事件がおき、今またテレビは連日保険金詐欺事件で持ち切り、まったく何が原因でこんなひどい事件が起きるのかと思います。

大会社の倒産や、それに伴う経済的打撃、また、容赦ない自然の猛威による水の災害、風による被害などがあり、この先、人は、日本は、地球はいったいどうなるんだろうと素朴な心配をしております。

そんな中で私のほう、新しい仕事について、3ヶ月あまりが過ぎたところです。仕事内容は経理事務など事務系の仕事ですが、周りの環境は大きく変わって、毎日色々な情報が飛び交っております。3年前初めてパソコンを買った頃はほとんど知らなかったパソコン用語も今では随分覚ええました。想像もしなかった2台目のパソコンまで、買ってしまい、仕事に興味にと楽しんでおります。

会社の仕事としては、システムエンジニアやプログラマーの派遣や、育成、企業へのコンピュータ関係のサポート。新製品の研究開発。パソコン教室、ホームページ作成などなど、

多岐にわたっております。奈良からの情報発信基地としても注目されているところです。

私のいる、インターネットジョイハウスでは、パソコンのことなら何でも OK というプロばかり。おかげでわからないことは何でも教えていただけるという、ほんとに有り難い環境に身をおいているわけですが、私の場合、わからないことがわからないという困った状態でもあるわけです。ま、仕事をやりながら、その都度実践で覚えていこうと思っています。

インターネットもできる環境になったことだし、その内ホームページ作りにも挑戦してみようと企んでいるところ。

この、アストロラマがホームページで見られるようになったらいいなと夢を描いております。20年ほど前、初めて手書きで出したことを思えば驚くべき進歩かなと我ながら感心している次第です。

また、ここジョイハウスでは、イメージスタジオジョイハウス (イメスタジオ JH) という、音楽部門もあり、ここでは、COMSO (コムソ) という、尺八とギターによる CD もリリースしております。

この、COMSO の尺八奏者とは、20年ほど前からの知り合い。偶然にも邦楽界とはまったく異なるジョイハウスでお会いしたことに、お互いにびっくり、世の中広い様で狭いもんだと改めて思ったことです。イメスタジオ JH では、COMSO のほか、「まほら」という雅楽演奏者グループもリンクされており、イベントの音楽なども引き受けております。

現在、音楽部門に続き、映像部門も進行中ということで、インターネットを通じて奈良の民話なども見られることでしょう。

何かの機会に「邦楽アンサンブル彩」も使っていただけるかな？なんてひそかに期待もしていたり……ああ、そのためにも早く「彩」に復帰したい！！

コンサートのお知らせその1

『光彩コンサート VOL.VIII』

今年もまた、元気でがんばっている「彩」による、コンサートが来る 10月25日 大和高田市文化会館 さざんかホールで開かれます。

今回も残念ながら私は欠席。当日は受付のお手伝いをします。
仲間の姿がだんだん眩しくなり、ひとり取り残されるさみしさも感じながら、また、「待ってるから早く再開して彩にもどっておいで」の言葉に元気づけられたりしています。

コンサートのお知らせその2

『COMSO による、ライブ』

日時 : 10月30日(金) 19:00 開演

場所 : 應典院 (天王寺区下寺町 1-1-27 Tel 06-771-7641)

入場料 : 3,000 円 (前売 2,500 円税込み)

興味のある方、ぜひいらしてください。お問い合わせは、
0742-40-2810 イメージスタジオジョイハウス 桑原 まで。
以上、COMSO の CM でした。よろしくお願いします。

新しい下宿人

私の持論である、友達の友達はみな友達…をそのまま、実践しているような事態となった。

友人のアッチちゃんの親友 (アメリカ在住) のそのまた友人が日本に行きたいが、日本にしばらく住まわせてくれるような知り合いはいないかと相談したらしい。それを聞いたアッチちゃんはその話をウチに振って来た。

かくして、まったく見ず知らずのアメリカ人が我が家に下宿することになった。10月3日、来日したトーマスさん。数年前に東京に住んでいたこともあるという。日本語も少しできるし、特に困ったこともなくいい場所に下宿できたと喜んでいる。私の友人たちは「機関車トーマスさん」なんて呼んでいる。

ま、こんな具合に普通 (何が普通わからないが…) では考えられないことをいとも簡単にやってしまうので、また、変わり者のレッテルが貼られたような気もする。



ちょうど、トーマスがきた日、オーストラリアの高校生 (レベッカ) がうちにホームステイすることになっていて、4日ほど泊まっていた。

ベンとナミは、同じ国の子がきてくれて大喜びだったが、当のレベッカにとっては日本語がまったく必要のない家にステイして、良かったのやら悪かったのやら。

うちの子が夏休みに、アメリカでお世話になったことを思いながら、レベッカと過ごした日々でした。

レベッカにとって初めての日本の印象がいいものでありますように。

また、我が家 (入れ物) が立ち寄った人たちにとって心地よい場所になりますように。

それは、入れ物の大きさではなく、迎える人の心の大きさによって・・・と願っている。

ケナフのこと

皆様は「ケナフ」をご存知でしょうか？これも、私がインターネットジョイハウスにきて初めて知った情報の一つです。

「ケナフ」はハイビスカスの仲間で、亜熱帯地域で育つ植物だそうで、とにかく成長が驚くほど早いという。春に直径5ミリほどの種子をまくと、秋には何と5メートルにも成長するという。で、なぜ今「ケナフ」が注目されているかというと、この「ケナフ」は地球にとっていいことづくめらしい。

このところ、話題になっている地球温暖化防止にも役に立ち、繊維は紙の原料になることから、森林破壊防止にも役に立つ。

もう少し詳しく、教えていただいたことを説明すると

成長が早いということは、光合成が盛んで大気中の二酸化炭素をよく吸収する、

地球の温暖化はこの二酸化炭素が増えすぎた結果だそうだから、今、できるだけその二酸化炭素を出さない工夫がなされている。で、このケナフをたくさん栽培して、たくさんの二酸化炭素を吸収しようというわけ。

もうひとつ。成長したケナフの茎の繊維は紙や布の原料になるという。紙の使用料がどんどん増えているということはそれだけ原料の木材を使い、森林破壊につながっている。

それが、ケナフの繊維を使うことによって、木を切らなくても良くなる。森林破壊防止につながるというわけ。割り箸を使わない運動だってそうですよね。

「ならケナフプロジェクト」というのがあり、こんな地球にとっても人間にとっても一石二鳥の植物をみんなでどんどん栽培しようとケナフ栽培を広げる運動を展開している。

どんなことでも、はじめは一人の思い付きであったり、小さなところから…。いいなと思えることは人から人へ少しずつ広まり、やがて大きな波のように広がっていきます。いま、学校や地域での栽培をすすめられています。

ケナフの栽培方法やケナフからできた作品の紹介などを載せたホームページも作られつつある。情報伝達の手段としては、もっとも効果的だとは思いますが、たくさんの人にアクセスしてもらうことは難しい。そこで、アストロラマでは少なくとも100数十名の方には確実にお知らせできると思って載せた次第です。

ケナフを使った商品も色々考えられている。将来奈良の産業になることを描いて。

ひょっとしたら皆様の周りでももう栽培されているかも？？

会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
6	10	繰越し			-6,682
6	10	カンパ	5,000		-1,682
6	10	コピー代		2,800	-4,482
6	10	送料		10,240	-14,722
6	19	カンパ	5,000		-9,722
7	6	ふみカード 2,000 円分			
7	6	切手 2,000 円分			
7	6	カンパ	2,000		-7,722
7	6	カンパ	3,000		-4,722
8	12	カンパ	3,000		-1,722
8	12	カンパ	10,000		8,218

たくさんのカンパを有り難うございます。

生駒日本語学習会の七夕祭り 感想文

7月に日本語学習会主催で開催した七夕祭りは、はじめの心配をよそに、素敵なものになりました。参加してくださった方からこんな嬉しい感想文も届きました。

今日の活動がとても面白く楽しかったです。初めての茶道とか、お琴とかのことを経験し、いっぱいすばらしい思い出が作れました。もし今度こういうような活動があったら、ぜひもう一度参加したいと思っています。また、今日会った人に感謝したいです。有り難うございました。また、会いましょう。

林 姿妙(りん し しょう)さんより。

私は台湾からの留学生で、4月にきたばかりです。日本の文化に深い興味を持っております。今日の七夕祭りは、とてもおもしろくて楽しかったです。茶道、琴、書道 いろいろ日本の文化を体験しまして、本当に楽しかった。案内していただいた方々も親切でいろいろ教えていただきました。まことに有り難うございました。いい思い出になりました。

リュウ ハイ ギ さんより

その他数名、バンラディッシュの方、マレーシアの方、フィリピンの方などなど、英文でも感想をいただきみなさん、日本文化の体験コーナーがとても楽しかったようでした。私たちにできることは、ほんの小さなことですが、なにか行動を起こすことによって得られるものは大きいと思います。

日本語学習会のメンバーもこれに気をよくして、また次の企画を考えています。

この近くには奈良先端大学院大学や、けいはんな学研都市に住む外国の方がたくさんいらっしゃいます。

異文化交流には最適なところかもしれません。教えたり教えられたり、お互いがもっと心ひらいて仲良しを深めていきたいものです。



友達が素敵な本をプレゼントしてくれました。「愛がいっぱい」中村淳子 著です。

そのはじめの言葉がとてもすばらしいと思って…ここに紹介させていただきました。

☆☆☆☆☆ あなたに 出会ったから 今の私があるのです。
あなたが 愛して下さったから 今の私があるのです。
あなたに 厳しく導かれて 今の私があるのです。
あなたが 許して下さったから 今の私があるのです。
あなたが ひたむきだから 今の私があるのです。
あなたの 心が美しいから 今の私があるのです。
あなたが 助けて下さったから 今の私があるのです。
あなたが 支えて下さったから 今の私があるのです。

あなたに 感謝を一杯一杯 捧げなければならないのに、私だけが恩恵を受けて胸熱くしてとても不公平。だから 不公平にならないように 私 心磨いて邁進します。

愛をいっぱい ありがとう あなた ☆☆☆☆☆

では、次号をお楽しみに

アストロラマNo.105

発行者 桑原 由紀子 630-0131 生駒市上町 9-12 TEL/FAX 0743-78-1969

1999.3.5

はい！皆さん、こんにちは。もうそろそろって思っていましたか？それとも、すっかり忘れられていたかな？そう、忘れた頃にやってくる「アストロラマ」なのです。と、軽くすべりだしておいて…随分ご無沙汰しておりますが、いかがお過ごしでしょうか？

この冬は各地でインフルエンザが猛威をふるい、亡くなられた方もたくさんいらっしゃるようですが、大丈夫でしょうか？

脳死患者の臓器移植ニュースが日本中を駆け巡っています。すごい時代になったものだと思います。私が死んでも私の一部が生きてるなんて、じゃ「死」って何？頭の悪い私にはわからない。まだまだ、自分のこととして考えられない私です。なんだか、重たいテーマですね。

能天気な私たちは、おかげさまで風邪もひかず元気に頑張っております。去年は前半、めまいだ転職だと波瀾含みだったのですが、後半、健康にも仕事にも恵まれて快調に過ごし、やる気いっぱい、1999 年を迎えることができました。と思ったら、もう弥生 3 月

「春一番」が吹いています。

昔、読んだ「ノストラダムスの大予言」、1999 年ってまだまだ先の話だわと思っていたのに、これももう目前。問題の七の月は後 4 ヶ月。信じてはいないけど、気になりますね。

隣の住人、ベンとナミは、このお正月休みはメキシコで楽しんできたようで…宇宙旅行も夢じゃなくなってきたいま、地球もだんだん小さく感じてしまいます。

宇宙といえば、「宇宙でお琴を弾きたい」なんてのもありましたね。もし、実現したら、世界中に日本のお琴が知れわたるだろうなんて、嬉しい想像を描いたりしております。

もちろん、お琴も細々と続けております。素敵な仲間をめぐまれて、刺激され

たり、励まされたり…同じ趣味で繋がった仲間…大事にして行きたい仲間です。
私の憧れの友人、「青木千里さん」も、去年はチェコでピアノチャリティーコンサート
でお琴を演奏されたそうで、こちらも嬉しいお話でした。

このコンサートはチェコに、日本武道文化センターを作ろうとしているチェコ人の
募金活動の一環だそうで、「チェコでお琴」ってのも、きっと大人気で募金のほうも
たくさん集まったのではないのでしょうか？

また、このときのピアニストとともに、オリジナルCD録音にも参加されたそうで、
さすが、世界を舞台に活躍されている千里さん。遠く生駒から声援しております。

「しじゅうから」さんにご対面

パソ通で繋がった「しじゅうから」サン。お互いにミニコミ誌を出していることで
も意気投合し、メールのやりとりが続いていましたが、去年のCOMSOのライブに
来てくださり、初めてのご対面となりました。と言っても、私のほうは「ほんとうの
時代」の中でしじゅうからさんのお写真を拝見していたので、初めてという感じでも
なかったのですが…しじゅうからさん、その節は有難うございました。

馬頭琴や、古箏の演奏もあり、ライブのほうはお楽しみいただいたようですが、
ゆっくりお話できなくて残念でしたね。

またの機会を楽しみにしましょう。

ニュービジネスメッセ

今年2月に、東京ビッグサイトで開催された、「第5回ニュービジネスメッセ」に
私の勤める「株式会社サンワード」も参加しました。

より多くの方に奈良の情報発信基地として注目されている「サンワード」を知って
もらい、意欲的なビジネスパートナーを求めることを目的に参加したイベントでした。

私は東京には行けなかったけれど、結果は “上々” だったそうです。

ここで、少し会社の紹介

森の中のしゃれたペンション風の建物につづく、半円形の空間「インターネット JOY-
House」のなかに、サンワードの事務所があります。

アイマックをはじめ、ウインドウズやマッキントッシュのパソコンがならび、事務所
というより、サロンって雰囲気。

業務内容は、ソフト・システムの開発とクライアント企業のサポート。わたしには、
よくわからないけど、ビジネス研究開発、ネットワークの構築、管理とサービス、SE、

PGの教育養成事業などなど、がおもな業務となっております。

私からみれば、大先生と思えるような人いわく「おそらく、コンピューターのすべてがわかっている人なんていませんよ。」

それほど、細かく分野が分かれているようで、有る部分においては、プロだけどその他のことは、ほとんどわからないとか。

一人ひとりがプロ意識をもった集団というか、コンピューター語って言うのかな、まったくわからない会話が飛び交ったりしていますが、それなりに興味深い世界を楽しんでいる次第です。

そんなわけで、「どんな会社？」ってきかれても、一口で説明するのが難しいのですが、広いネットワークをもっていらっしゃる社長のお話を聞くだけでも楽しいですよ。

興味ある方は、「インターネットジョイハウス」においでやす！！

会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
10	20	繰越			8,218
10	20	コピー代		2,800	5,418
10	20	送料		3,440	1,978
1	1	カンパ	5,000		6,978
1	12	カンパ	2,000		8,978
3	3	切手 50×3、80×3			

皆様、いつも暖かいカンパを有難うございます。

老後の楽しみ

「生駒日本語学習会」を最初に作った中田千鶴子さんに久しぶりに会った。
96号で紹介した、「あやこちゃん」のお母さんである。

もう、何年前になるだろう。「日本語学習会」を一緒にやりませんか？という、
新聞記事をみて、電話したのが彼女とのお付き合いの始まりだった。

その頃何かボランティアをしてみたいとか、外国に興味を持っていた私は
「これなら私にもできるかも？」と思って一緒にやらせていただくようになった。
が、そのうち家庭環境もかわり、仕事も持ち、だんだんと名ばかりの会員になり、今
に至っている。当の中田さんもお家の引越しやら本人の病気やらで現在は活動できな
いにもかかわらず、一緒にはじめた他のボランティア会員によって、会の運営は続け

られている。有難いことと思う。

普段まったく音沙汰なしなのに、何年たっても会って話せばいろんな苦労話に花が咲き、このボランティアによって繋がった人のご縁に感謝している。

中田さんは、その頃からとても行動派の方だったけれど、今また近い将来のためにシニアハウスのようなものを建てる予定だそうで、またまた驚かされた次第。

田舎の自然に囲まれて土とともに心豊かに暮らしたい、と夢を語る彼女の顔は生き生きと輝いて見えた。

完成の暁にはそんな彼女を囲んで、夜を徹して語り合いたいと願っている。

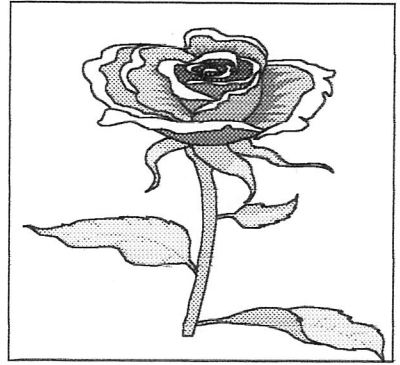
「機関車トーマス」

前号で紹介した、二階の住人ことトーマス。彼は、1ヶ月滞在の予定を大きく上回って、2ヶ月半くらい住んでいた。どこにでも価値観が少々違う人はいるもので、彼もまた、契約社会のアメリカ人に似合わずちょっといいかげんと、思えるところが多々あった。いままで、いろんな国の方と住んで思うのは、アメリカだからとか、ドイツだからというのではなく、あくまでもその人個人の考え方、価値観の違いだけだと思う。同じ家で住むには最低限守らなければならないルールやエチケットが有るとおもうが、それらを見捨てられたとき、やはり相手に非難の気持ちを持つ自分がいた。一生懸命自分の思いを伝えたいのに、根っこのところが違うと理解もできないだろう。まして、言葉がうまく通じないのだからなおさらのこと。

いい勉強をしたとは思いますが、ま、人生にあたりはずれはつきもの、また困ってる人がいればきつと声かけてしまうだろうと何事にも懲りないゆっこサンです。

年々、深刻化する高齢化社会。私の両親も80歳と75歳。母はいまだに現役で仕事をしているが、そのせいか歳より随分若く見られている。いつまでも親に心配かけて安心させないから、若くいられるのよなんて憎まれ口を言ったりしているが、そろそろ仕事を離れてのんびり好きなことを楽しんでほしいと思う。

中田さんに負けず、ここをシニアの溜まり場にしようかなんて、ひそかにたくらんでいる今日この頃です。きっと「知恵」の宝庫になることでしょう。学童の子供たちとシニア。また何かが生まれそう。では、次号をお楽しみに。



アストロラマNo.106

発行者 桑原 由紀子 630-0131 生駒市上町 9-12 TEL/FAX : 0743-78-1969

1999.7.20

皆様こんにちは。4ヶ月(?)のご無沙汰でした。
今年も半分終わりましたね。

なかなか景気の回復も見えない前半だったようですが、この先どうなることやら。

朝のワイドショーでは、あきもせずミッチー(浅香光代)、サッチー(野村沙知代)のああ言った、こう言った放送がつづいています。

世の中平和というか、なんというか、私たちの暮らしにはどうでもいいようなことが日本じゅうに流されているわけで、あまり、テレビも見る気がしません。

世の中、リストラで職を失った人や、記録的な豪雨で災害に見舞われた方が大勢いるなかで、こんなことでいいのだろうかと思ってしまう。

私のほう、お蔭様で元気で仕事も続けております。受験生となった娘の沙代子も相変わらずのんびりしたのですが、ぼちぼち自分の将来を考え始めたようです。十分なことをしてやれない情けない親ですが、その分たくましく育ててくれるようで、いつもながら子供がいて良かったって感謝してます。今回もまた、私の身の回りのあれこれを書いて行きたいと思います。

My Home Page

この夏一番のビッグニュース(?)です。わたしにとってですけど。

というのは、パソコンにさわりはじめて、インターネットをやりはじめて、いつかは、自分でもホームページを作りたいと思っていたのですが、やっと、やっとできました。

ホームページのタイトルはもちろん「アストロラマ」。まだまだ、そんな立派なものでは、ありませんが、自分では気に入ってます。懐かしい「みどり館」も見えます。検索ページにも載せていないし、誰も見てくれないかもしれないけど、反面、誰でも見る状態になったわけで、ワクワク・ドキドキってところです。

中味は邦楽アンサンブル彩のこと、今度新しく作った邦楽グループ MITS のこと、そしてアストロラマのバックナンバーを少し載せました。インターネットをやっている方、ぜひ覗いてみてください。

そして、よかったらお友達リンクに入ってください。

URL は<http://www1.kcn.ne.jp/~k-yuki/>です。どうぞよろしく。

12年ぶりの故郷

5月の連休に、弟にさそわれて、12年ぶりに四国愛媛県に帰ってきました。丁度、しまなみ海道が開通とあって人も車もメチャ多かったです。私のふるさは、東宇和郡宇和町という小さな町です。

沙代子にとっては、初めてみる私の故郷。2,3歳のころ、一度連れて帰っては、いるものの、彼女の記憶にはまったくなし。片道はフェリーだったので、大喜びでした。

叔父さん、叔母さん、従兄弟に迎えられ、わずか一泊二日の短い帰省でしたが、年とともに故郷っていいなと思います。

いつもこのアス
緒にお琴を習った友
い、高校時代の親友
を惜しんでおしゃべ

この年まで生きる
りに現在の自分を受
帰ってもさっと集

子供のころに見
った故郷ですが、
ったのは私かもし
たのだから・・・

振り返ってみれ
争も体験せず、死
平和にこの年まで
大変なこともあっ
ほどの苦労も知ら

いま、人生の折り
にはなくとも心豊か

現実はいくらふ
きな問題もぶら下がっ
取り越し苦労をしても仕
一日一日を笑って過ごせ
ね。

そして、世の中がもう少し景気よく
いつの日か、皆様とお会いしておしゃべりもしてみたいなんて思うこのごろです。わたしは、
幸せっていうのは、自分がそう思うことで簡単に手にする事ができるんだなって常々思ってい
ます。「アブダカタブラ」呪文をかけよう。「ああ、幸せ！」

トロラマを読んでくれている友達に会い、小学生のころ一
達に会い、小学卒業以来ウン十年ぶりに懐かしい友達に会
に会い・・・一辺に昔に戻ったようで、ほんとに短い時間
りしてきました。

と誰しもそれなりのドラマがあり、苦労もあるが、みなそれな
け入れ、前向きに生きている友達を見て嬉しくなった。いつ
まってくれる友がいるってほんとに有難いことです。

なれた風景は、ダムの底に沈み、まったく変わってしまった
住んでる人は同じで、そんな人からみればすっかり変わ
れない。おかっぱ頭の女の子が50のおばさんになっ

ば、のんびり素朴な田舎で育ち、受験戦争も就職戦
ぬの生きるのっていう瀬戸際も体験せずほんとに
生きてきたもんだと思います。その時その時は
たのだろうが、過ぎてみれば苦労という
ずにきたようです。

返し点にきて、今までの体験を活かし、な
に生きていければと願っています。

りかかる親の老後、自分の老後など大
ているわけですが、あまり
方がないし、
るようがんばるしかないです

なることを祈り、

邦楽 MITS 夏祭りバージョン

友人が地域の夏祭り実行委員になり、今年はいつもと違った祭りに仕上げたいが、どこかに気軽に頼めるバンドはないだろうかって聞いてきた。

こういうチャンスはしっかり Get するユッコさん。

「邦楽バンドではだめかな？」と聞いたら、

「え、やっていただけるんですか？」ということで話が進み、新しく作った邦楽グループの「琴&尺八 MITS」のメンバーで演奏することになった。

琴、尺八の流れる格調高い???夏祭りになったかどうか。

少し流行遅れかなと思える、だんご三兄弟をはじめ、アニメの定番ドラえもんやサザエさん、トトロ、懐かしいところで、少年時代、島唄などの流れる夏祭りをご想像ください。

乗馬ヒーリング

ストレスの多い昨今、いろいろなところで、いろいろな方法でのヒーリング（癒し）の記事を見たり、聞いたりすることが多いですね。

沙代子がお世話になっているロイヤル乗馬クラブのオーナーの奥様、まゆみさんも乗馬ヒーリングという、独自のプログラムを研究開発し、実践しておられます。

馬の背中で、呼吸法、イメージ法などさまざまな用法を取り入れた本格的なヒーリングが行われております。

「馬は“癒し”の動物として不思議な力を持っています。」とおっしゃっています。初めて馬を見に行き、まゆみさんとお話したとき、なにか不思議な安らぎを感じたのを覚えています。こういう研究をされていたと聞いて成るほどと思いました。

何時行っても、あったかい人たちが迎えて下さり、確かにホッとする雰囲気があります。学校へ行けない子供（登校拒否児）や、肉体的にも精神的にも警告信号を発している方も来られるそうです。馬の背中で、馬の揺れにまかせ、呼吸法によって集中していくと何ともいえないリラックス状態になり、心身のバランスを回復し、誰もがもっている自己治癒力を高めていくことを馬が手伝ってくれるのだそうです。

まゆみさんは、この夏、サンフランシスコ州立大学のホリスティック医学研究^所の^所研究員として渡米の予定だとか。そのためにパソコンも覚えなくてはということで、私の勤めているサンワードへも時々来られています。

とても、前向きで馬にも人にも花にも愛情いっぱいの素敵な女性で、乗馬服に身をつつま凛とした姿はまた格別な美しさです。

最近読んだ本 五体不満足

よく行く本屋さんで選¹⁴められて買った、乙武 洋匡（おとたけ ひろただ）著の五体不満足。先天性四肢切断（うまれつき両手両足がない）障害をもって生まれた乙武君が、自分の生い立ちを書いた本です。読み進むうちに、彼自身のすばらしい生き方に感動し、そんな彼を育てたご両親や先生に感動しました。本の帯にはしっかり「感動は求めません」って書いてあるけど、やっぱり感動ものです。

でも、「障害は不便だけど、不幸ではない」って気持ち、よく分かります。彼は何よりも「こころのバリアフリー」を求めて活動しています。

人は、みんな違うってこと。自分は他と同じではない。そんなかけがいのない自分に誇りを持つこと。自分のことが大切な存在なんだと思えると自然に相手のことも同じように大切な存在なんだと認められると言う。

私の回りにも、国が違う人、車椅子に乗った人、目が見えない人、いろんな人がいる。一人として、同じ人はいないわけで、それが当たり前に思える。

乙武君も言っているように、違うってことに慣れることが、「心のバリアフリーの第一歩」だそうで、まづは自分自身のこころはいつだってバリアフリーでいようと思います。

会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
3	10	繰越			8、978
3	10	コピー代		2、800	6、178
3	11	送料		10、480	-4、302
3	24	カンパ	2、000		-2、302
3	30	カンパ	5、000		2、698
3	30	切手 80×5			
4	15	切手 80×20			
5	3	カンパ	5、000		7、698
5	15	カンパ	2、000		9、698

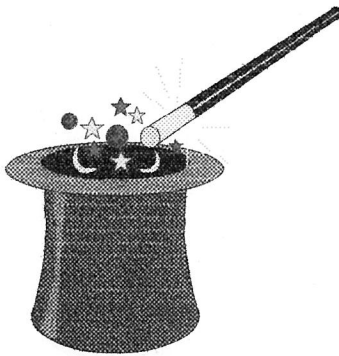
皆様、たくさんのカンパを有難うございます。

ボツボツ、梅雨もあけて、本格的な夏ですね。暑さに負けず、元気で楽しく、乗り切りたいものです。先日、日本の和太鼓、中国の古箏、二胡、琵琶、インドのシタール、韓国の打楽器、沖縄のさんしんなどなど、アジアの音楽を一同に集めたコンサートを聞きに行きました。人も楽器もそれぞれの良さを発揮して、すばらしい音に酔いしれ、幸せなひとときでした。では、今回はこの辺で。次号をお楽しみに。

アストロラマ No.107

発行者 桑原 由紀子 630-0131 生駒市上町 9-12 TEL/FAX 0743-78-1969

1999.10.20



ながく続いた残暑も過ぎ、一気に、朝晩肌寒さを感じる「秋」となりました。

6月頃、自分達で種を蒔いた富雄川沿いのコスモスが美しく風にゆれています。

東海村の臨界事故、大手銀行の合併、リストラ。あまり嬉しくないニュースばかりですね。

私の勤務先の状況も随分きびしいものになってきています。

生活の不安、先行きの不安はふくれる一方。

元気を出さなくちゃ…とにかく、今日一日、笑って過ごせば…そんな綱渡りみたいな生活が続いております。くずれそうになる自分を励ますつもりで107号を書いています。ちょうど1年前も同じ日に発行しているなって思いながら。

日本万国博覧会30周年記念同窓会

万博から30年にあたる来年5月に上記の同窓会が開かれるという、ニュースをいただきました。10月16日その準備のための第1回幹事会があり、みどり館からは、末松さんと浅井さんが出席してくださいました。

総指揮を取ってくださる神谷さん、いつも有難うございます。末松さん、浅井さんお疲れさまでした。私のほう、お役に立てなくてごめんなさい。

当日には、何とか明るい顔して出席できる事を願っております。

30年といえば、このアストロラマにもときどき登場する私の母が、9月30日で28年勤めた浅沼組をめでたく退社しました。

万博の頃は四国から上阪して、アパート暮らしをしながら会場に通っていた私を助けてくれましたが、ちょうど、万博が終わった頃、四国の家を処分して、大阪に引っ越して来ました。その後縁あって、浅沼組に入れていただき、新しい土地で新築されたマンションの管理人としての人生が始まったわけです。今の私より、少し若い頃のことですが、住みなれた田舎を離れて都会暮らしを始める事は、かなりの勇気が要った事と思います。今になれば、思いきって大阪にきて良かったと言っておりますが。

四国弁はなかなか直らないようですが、もうすっかり大阪人です。

この長い間には、きっと、本が二、三冊書けるほどの思い出がつまっている事でしょう。田舎者で面倒見のよい母のことを、マンションの住人はみんな、おふくろさん代わりに慕っていました。夫婦喧嘩の仲裁にはいたり、母子家庭の子供の面倒をみたり、会社の宿舎にもなっていたので、社長のお世話や出張してきた社員の世話をしたり、ま、実の娘がいうのも変ですが、あんな管理人さんのいるマンションにいる方はラッキーだなんて思うほどでした。

定年をとうに過ぎてみずっと会社において下さって、お陰で年齢よりも随分若く見える母です。これからは体に気をつけて、多いに自分の人生を楽しんで欲しいものです。

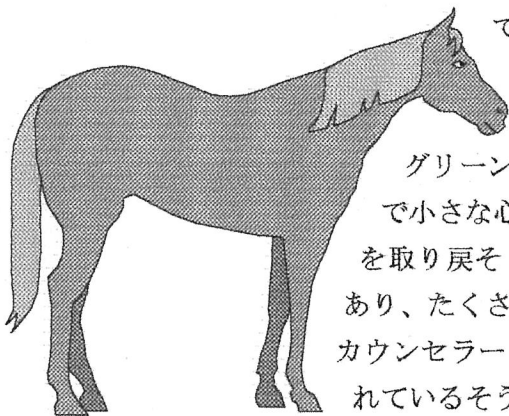
長いあいだ、お疲れ様でした。そして、一時は父も私もお世話になった浅沼組さま有難うございました。

関西ヒーリング研究所

こんな研究所を作ろうと現在、ロイヤル乗馬ヒーリングセンターと（株）サンワードで企画を練っています。

乗馬ヒーリングは前号でも紹介した、ロイヤル乗馬クラブの植田まゆみさんが力を注がれている新しい分野です。

その一環として、アメリカから戻ってきた平桃子ちゃんの報告会があり、聞きに行ってきました。アストロラマの古い読者は覚えていらっしゃるかも知れませんが、平桃子ちゃんは、私の友人、平真知子さんのお嬢さんで、中学生の頃、スイス楽園村に参加してその感想文を書ってくれた事がありました。（80号に掲載）その子が今は女子大生、素敵なレディに成長しました。大学で馬術部に入った彼女は、沙代子の行っている乗馬クラブにも興味をもち、クラブへ案内。そこでまゆみさんに会い、まゆみさんの研究に興味をもち、現在はその道をまっしぐらと言った所です。



で、その彼女がこの夏休み1ヶ月間をアメリカ・ニューヨークにある、グリーンチムニーズで過ごし、その体験レポートの発表があったわけです。

グリーンチムニーズは、虐待や、ドラッグなど様々な原因で小さな心に大きな傷を持った子供たちの心を癒し、生命力を取り戻そうと作られた施設だそうです。そこでは、農場もあり、たくさんの種類の動物を飼い、経験豊かな医師や教師、カウンセラーとともに、一人一人に合わせたプログラムが組まれているそうです。日本でもこのところ、親による子供の虐待

など、恐ろしいニュースに耳をふさぎたくなりますね。

ビデオを見たり、写真を見たり、実際に暮らしを共にした桃子ちゃんの言葉はかなり、説得力があり、この日本でも変わり行く社会環境に巻き込まれて悲鳴をあげている子供達に気付ける大人を増やさなくてはという、思いがしました。が、そういう大人も傷つき疲

果てている昨今、救いは動物の温もりや裏切る事のない愛情に求められているのかも知れませんね。医療、教育、食の三つの柱を基に、勉強会を重ね、昔あった当たり前の暮らしを取り戻そう・もっと自然回帰をしようと仲間を増やしているところです。

会計報告

月	日	摘要	収入	支出	残高
7	20	繰越			9,698
		コピー代		2,800	6,898
		送料		11,200	▲4,302



最近読んだ本「愛の黙示録」母よ、そして我が子らへ<原題>

(発行所=映画「愛の黙示録」を世界におくる会)

ある日曜日、「ボランティアでお手伝いをしてもらえないか」との声をかけられ、何があるのかもわからずに行った先は、韓国の映画「愛の黙示録」の上映会会場でした。そこで、著者じきじきにサインを入れていただいて買ってきたのが、この本です。

大韓民国・木浦（もっぼ）で孤児を育てていた伊致浩（ユンチホ）と結婚した日本女性田内千鶴子の生涯をその息子である伊基氏（日本名・田内基）が書いたものです。

孤児院の名は共生園。

当時は朝鮮人と結婚するというだけで、同じ日本人から白い目で見られたと言う。やがて、第二次世界大戦後、支配者から被支配者という全く逆の立場になり、今度は日本人というだけで、村人から命までねらわれるような日々だったそうです。そんな社会情勢の中、貧困と戦いながら共生園の孤児達を育てた。そして、自分で産んだ子供達も孤児院の子供たちと一緒になんら区別することなく育てたと言う。

この本を書いた伊基氏にとっては、いつも自分の母でありながら遥かな存在に思われ、人並みの親の愛情を求めてやまなかったという。そんな育ちの中から何にも勝る大きな愛を学んだとおっしゃっている。

勉強ができなくても、一流大学に行けなくても、人間を愛することの出来る人間に育てば人間の未来は大丈夫だとも。

伊基氏は現在、堺市で「在日韓国老人ホーム」の仕事をしておられる。

氏は、国境を超え、民族を超えた人間同士の愛が芽生える事を切に願っておられる。韓国に関してはあまり知らない私でしたが、意義深いボランティアの一日でした。

??ロツレチハ??



最近、尺八を習いはじめた。

手元に楽器があったこと・題のような楽譜がなんとか読めること・合奏相手の琴の曲がわかっていること・多少なりとも音が出せること・など、条件がそろっていたのでとっつきやすいと言う事もあった。

ピアノが、エレクトーンが、ギターが、弾けたらいいな。楽器が演奏できるって楽しいなと思うのに、子供の頃から琴譜ばかり見てきたせいか、おたまじゃくしの音符にからきし弱い。もう、拒否反応に近いくらい。友人は、琴や、三味線、尺八など訳のわからない楽譜を読めることのほうが不思議だと笑うが。

まだまだ、しきたりの多い邦楽の世界、今更〇〇流とか〇〇会とかに所属したくないし、免状が欲しいとも思わない。ただ、吹けたらいいな…。そんな思いを理解して下さる先生に出会えたのも良かった。

なんでも一つを極めるのは難しい。楽しみ方は人それぞれ。音が苦^{おんがく}よりも、文字通り音を楽しみたい。

お向かいのご主人も、なにか趣味を持ちたいということで、尺八をすすめ、先生を紹介したのが、3～4年前。はじめは、プーともピーともならなかった竹が、熱心な先生の指導と本人の努力で、今ではいろんな曲を楽しむところまで上達し、いい趣味ができたと喜んでおられる。ホームパーティーでは、二人で演歌なんぞを披露して「私も尺八習いたいな」って人が現れないかとひそかに尺八界に貢献(??)をもっている。

「首振り三年、コロ八年」とかいう言葉があるそう。ま、そこそこ吹けるにはこの位かかるという事だろう。熱しやすく冷めやすいB型のこと、いつまで続くか分からないがリコーダーみたいな音が、少し尺八らしい音になって練習にも熱が入る。

いくつになっても、新しいことに挑戦するのは、ワクワクドキドキ。誉められて嬉しいのは大人も子供も同じ。誉められたいから頑張る。誉め上手の先生、お琴を教えるときも見習わなくちゃ。



好き勝手書いてるうちに、紙面も無くなってきました。

これを発送するとともに、HPにも載せておきます。

友人に「更新しないともう、見に行かないよ」なんて言われて、せっせと日記を書いて更新も頑張っています(＾O＾)。7月からつけたカウンター、今で、240くらい。

インターネットやってる皆様、また、覗いてくださいね。そして、メールもお待ちしています。 アドレスは<http://www1.kcn.ne.jp/~k-yuki/>

Eメールはk-yuki@kcn.ne.jpへよろしく。

では、お風邪など召されませんように。 次号をお楽しみに。